



国庫補助金、地方交付税の削減で厳しい財政状況の中での予算特別委員会



三ヶ尻隆雄議員

## 財政問題

# 地方分権が及ぼす影響は

## 入りに見合う歳出規模とする

**質問** 地方分権が自立を選じた当町に及ぼす影響は。今後も地方交付税、補助金削減が進む中で、収支の整合性は、事業の縮小か、リストラか、自主財源確保のどれを重視するのか。

所運営費など八千七百万円が一般財源化され、地方交付税は国の伸び率マイナス六・五%を乗じて一億九千三百万円の減となり、臨時財政対策債は、マイナス二八・六%を乗じて一億五千九百万円の減となった。税源移譲は所得譲与税が創設され三千二百万円を見

## 町の考えを聞く

### 畜産振興

## 環境基準はクリアできる

## たい肥センターの悪臭対策は

込んでいる。新年度予算は入りに見合う歳出規模にするため発展計画事業費、扶助費、補助

金、人件費などの見直し、削減を行った。普通建設事業費はたい肥センター建設により前年度を上回ったが、物件費で三千九百万円、補助費で五千二百万円、扶助費六百万円、人件費九千二百万円の合計一億九千万円圧縮したが、歳入が四億円以上も減少する中で、多額の基金を投入せざるを得なかった。

**質問** 地下水汚染が心配された豊間根地区のたい肥センター建設は喜ばしい事である、そこで次の事を問う。

力する。

悪臭公害を考慮したか、地区住民への説明が遅れたのは何故か、産業建設常任委員会への事前説明が遅れたのはなぜか、図面に肝心の臭気捕集ループ、脱臭槽が無いがこの施設で悪臭を防げるのか。

建設地は処理方式により施設規模が決定するため、一連の作業後に議会に説明し、その後地区説明会を実施した。

たい肥センター建設は、最小の経費で当町の特徴ある完熟たい肥製造を主眼に置き慎重に検討を重ねてきた結果である。

提案された処理方式で産業廃棄物中間処理施設として、環境基準をクリアできる悪臭対策も可能である。

**沼崎町長** この施設は産廃施設の中間処理施設であり、公害発生防止は当然努

力する。